



目的: 多くの消防人への安全活動の普及

現在消防業界は過渡期に移っています。

様々な安全性が高まり、大きな事故や災害が起きにくくなりました。
これはとても喜ばしいことです。

しかし、災害出動の現場出動は少なくなり、特に若手職員の現場経験は減っているのが現状です。

このため今まで起きなかったヒヤリハットが起きやすくなっていると考えています。

YFDは安全管理Laboと協力し【現場の生の声】を皆様にお伝えすることで消防活動の安全性が高まると思い行動を開始しました。

秘匿性を高めつつ、通常のヒヤリハット事例では報告されないような様々な事例を紹介していきたいと思っています。

全国の消防職員が同じような事故・ヒヤリハットをしないため、また、未然防止行動を参考とするため、ぜひあなたの【ヒヤリハット】や【ナイスJOB】を紹介させて頂けたらと思います。

《目次》

[【走行】緊急走行中障害物を避けるため、ハンドルを切ったところ後輪が滑った。](#)

[【火災】火災建物一部倒壊](#)

[【火災】防火衣の設定失念](#)

[【救急】事故車両のエンジン切り忘れ](#)

[【火災】防火手袋を忘れた](#)

[【訓練】下降器\(stop\)の操作を誤り6m下のマットに墜落](#)

[【火災】ケブラ手袋を忘れた](#)

[【火災】中継口がひらいていた](#)

[【走行】輻射熱で防火帽のしころマークが溶けた。](#)

[【走行】接触しそうになった](#)

[◆information](#)

【走行】緊急走行中障害物を避けるため、ハンドルを切ったところ後輪が滑った。

雨の日の緊急走行中、路面が反射で見えず、中央分離帯のポールに接触しそうになり、ハンドルを切ったところ、後輪が滑り少しドリフトした。

YFD FEED BACK コメント

□管理人

雨の走行は視界も悪く滑りやすいのが特徴ですね！ 急ぐ気持ちは分かりますが、自分の限界を超えるスピードは出さないようにしましょう。

ご報告ありがとうございました。

□安全管理LABO

報告ありがとうございます！

緊急走行時は特に広い視野であらゆる事故スレッド(要因)を予測しながら運転を心がける必要がありますね！

【火災】火災建物一部倒壊

署から遠い場所での住宅火災。

現着まで20分程度フリー燃焼し、2階建ての1階2階ともに火がまわり最盛期。

主要構造部の強度低下がかなり進んでいた。

現場到着後、直ちに360°サイズアップしようと火点建物をまわり初めて、玄関前を通り過ぎた瞬間、玄関上のベランダ部分が倒壊し、1階から水平方向に火炎熱気が噴出。

数秒の差で火に巻かれるのを免れた。

長時間、放水がされずに燃焼が続いた火災建物は、最先着隊が現場到着直後のタイミングでも倒壊することがあることを認識し、火災の状況を視認した上で、近づけるかどうかの判断が必要。

YFD FEED BACK コメント

□管理人

有益な情報ありがとうございます。地方なら発生しかねないヒヤリハットだと思います。常に倒壊するという可能性を頭に入れて活動したいですね！

□安全管理LABO

ご報告ありがとうございます！

特に火災の際はいろんなところに気を取られがちになります。現着の時間帯等でも危険性が変わってくるとい
う有益な情報ありがとうございます。

【火災】防火衣の設定失念

防火衣を新たに貸与されて、ベルトや絞りを調整しようとするも、別の災害や事務が立て込み、
調整を失念。勤務中の夜休憩中に火災事案が発生し、防火衣を装着できずに、影響のない機関
員へ交代した。

YFD FEED BACK コメント

□管理人

これはどこでも起きることだと思います。特に階級の低い方の場合には上司に話しにくいですよ
ね。所属として新規の資機材が導入された場合は時間を取って準備をするようにできたらと感じ
ました。

□安全管理LABO

ご報告ありがとうございます！

組織・隊として何を優先に準備しなければならないかという共通認識が持てると良いですね！
「起こらないだろう」というバイアスが結果として自分達の首を絞めてしまう事がよくあります。

【救急】事故車両のエンジン切り忘れ

高速道路内で急病にて救急要請。

傷病者は路肩に停車して運転席にいたもの。

搬出目的のためバックボードを使用し、支援隊と共に運転席ドア側から搬出。

その際シフトレバーがパーキングに入っていたのは確認したが、エンジンの停止は確認を怠っ
た。

搬出時に何らかの拍子にシフトレバーがバックに入ってしまう、車両が動き出した事案。

輪止め等の処置をしていた為、大きな二次災害には至らなかった。

YFD FEED BACK コメント

□管理人

危なかったですね！輪留めの接地の重要性を認識することができました。救助の前に常にエン
ジンが停止されているのか？いないのかは確認するようにしましょう！

ご報告ありがとうございましたm(__)m

□安全管理LABO

ご報告ありがとうございます！

必ず、シフトレバーP、エンジン停止、車両固定、油漏れの確認を徹底した後、要救助者にとりつきたいですね！また、何人もの目で確認するののも一つの方法かと思います！

【火災】防火手袋を忘れた

秋田県、厳冬期の火災、3棟燃える火災に機関員で出動した時、水利希薄地帯の為、河川からの揚水でしたが現場到着後、手袋をわすれて6時間程素手で活動した。

 YFD FEED BACK コメント

□管理人

防火衣忘れはやはりあるあるですね('▽')。素手で活動するのは危険なのでせめて革手袋をつければ良かったかもしれません(冷たいのにかわりはない)。予備の防火手袋を乗せるようにしたいですね！

□安全管理LABO

ご報告ありがとうございます！

厳冬期ですので、凍傷にもなりかねません。濡れてしまった事も考え、やはり予備は必要だと強く感じさせられた報告でした！

【訓練】下降器(stop)の操作を誤り6m下のマットに墜落

4～5年前、編みロープの訓練中、若手の隊員が下降器(stop)を使用して降下する際、レバーを握り込み墜落した。(身体的な怪我は無いが、精神的ダメージが改善されなかった)

原因

①ダブルプロテクションの原則を守っていなかった。(安全管理者はこれぐらいなら要らないと思っていた)

②高所恐怖症もあり、緊張してレバーを握り込んだ。

③編みロープの訓練は1ヶ月に1回あるかないかであったため慣れることが無かった。

※訓練後、所属で情報共有されることなく平然と同様の訓練は行われ、当隊員は数年後退職した。

 YFD FEED BACK コメント

□管理人

まず、怪我をしなくて本当に良かったと思います。しかし、これは上司の責任ですね。最低限地上で取扱い訓練を行ってからやるべきでした。高所恐怖症と分かっているならよけいです。

部下のの命を守るためにも、この報告をみたあなたはこのような上司にならないようにしてください。

□安全管理LABO

ご報告ありがとうございます！

必ずバックアップは取りたいですね。また、資器材に関してもパニック防止付きの物を使用するなど、人間がミスをして事故に至らない措置というのも重要だと思います。

報告できない組織は事故率がかなり高くなりますので、改善したいですね！

【火災】ケブラー手袋を忘れた

普段、防火衣のマジックテープの所にケブラー手袋をくっつけていたのだが、ある日の火災出動時、着装の際にマジックテープから外れて落とした。それに気づかず車両に乗り込み、いざ手袋を履こうとした時に気づいた。

 YFD FEED BACK コメント

□管理人

マジックテープで付けるのは便利ですね！ポケットにひとつ入れておくと良いと思います！

ご報告ありがとうございましたm(__)m

□安全管理LABO

ご報告ありがとうございます！

すぐに取り出せるような工夫も大事ですが、何か接触してしまった際に簡単に外れてしまうというのも裏を返せばリスクですよ。この辺りを天秤に掛けて判断したいですね！

【火災】中継口がひらいていた

有圧水を吸管でとり吸水コックを開いた際、中継口が開いており水を噴出させてしまった。

 YFD FEED BACK コメント

□管理人

中傾向は第5の放口ですので放水していれば圧力が一気に下がったと思います。日頃からの点検が大切ですね！ご報告ありがとうございましたm(__)m

□安全管理LABO

ご報告ありがとうございます！

有圧水利も危険要素となってしまうことがありますので、しっかり確認してから水を取りたいですね！中継口の前に誰もいなくてよかったです。ヒヤリでしたね！

【走行】輻射熱で防火帽のしころマークが溶けた。

炎上火災において、ホース延長し放水するまでの間で、直近にいた隊員の防火帽のしころマークが輻射熱により溶けた。

⇒ホース延長する場所、火元建物との距離感を事前に把握することが重要である。

炎上火災ならば延焼防止活動へと切り替える。頭では分かっているが、自然と燃えている建物に近づいていくことを知っておくべきだと感じた。

そして誰かがその状態になっていたら、別の隊員が注意喚起できる体制・環境作りが重要である。

YFD FEED BACK コメント

□管理人

勉強になります。本当にその通りです。特に新人の方は興奮して近づいてしまうと思います。ぜひ勉強を浸透させていってくださいm(__)m

□安全管理LABO

炎上火災の際は特に輻射熱が強くなりますので、ホースに水を乗せてから近づきたいですね！誰かが必ず指摘できるような関係性、とても重要だと思います！

【走行】接触しそうになった

登り坂の狭い道のカーブで急にきた車と接触しそうになりました。狭い道の為、気をつけて走行はしていましたが登り坂ということもあり途中で止まりたくなかったためです...

すれ違う時もこちらが止まっていると、すれ違えなかったのが狭い、カーブ、登り坂、、ヒヤヒヤしました。

YFD FEED BACK コメント

□管理人

狭い道は本当にひやひやしますよね！ゆっくり焦らずに対応しましょう！

□安全管理LABO

坂道発進を考えると、止まりたくないという気持ちにもなりますよね。狭い道は特に細心の注意が必要です！

◆information

YFD FEED BACK コメント

YFD VOICESを運営するメンバーがコメントしています。

□管理人

消防・防災について発信するよろずFDを運営

□安全管理LABO

現役消防士としてCRMを全国に広めています

あなたの貴重な体験を報告し、共有しましょう！

2022年2月から活動を開始したYFD-VOICES(消防安全情報自発報告制度)は多くの消防職員様、消防団員様のヒヤリハットやGoodジョブ事例を収集し発信する機関です。

消防業界の安全性を高めていくためにも皆様のご意見をお待ちしています。

📌報告をいただく対象者

消防業務に携わる全ての方々

📌YFD-VOICESで取扱う情報

例えば、危険を未然に防ぐことができたGoodジョブ事例や人的エラーや安全阻害要因はあったが、不安全事故として顕在化しなかったヒヤリハット等の消防安全情報を取り扱います。

しかしながら、消防活動に係る安全情報に該当しない情報は、YFD-VOICESでは取り扱いできません。

📌YFD-VOICES へ報告する方法

①YFD Voices【消防安全情報自発報告制度】ホームページ

<https://yorozuno-saka.com/yfd-voices>

②入力フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd823R4bVv45IPEo_zlPMIBBtcH1YDEysmf_o7mDF2q5ENHOw/viewform?usp=sf_link

いずれも匿名で報告することができます。

お問い合わせ

mail: yorozu-f-d@outlook.jp